

I 第29週の発生動向 (2011/7/18~2011/7/24)

1. 水痘については、むつ保健所管内において、第24週から**警報**が継続しています。
2. 手足口病については、弘前保健所管内において、第26週から**警報**が継続しています。
3. 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内においては第27週から、むつ保健所管内において第28週から、**警報**が継続しています。

II 第29週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 +内科	(85)				1	0.1							1	0.0	0					
小児科	(74)	4	0.4				1	0.2	2	0.3			4	0.1	-2			4	0.5	
(75)	咽頭結膜熱	4	0.4	7	0.8								14	0.3	2			4	0.5	
(76)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.6	3	0.3				3	0.5	3	1.0	14	0.3	-7			5	0.6	
(77)	感染性胃腸炎	23	2.6	4	0.4	5	0.6	3	0.6	9	1.5	9	3.0	53	1.3	-33	9	9.0	14	1.8
(78)	水痘	8	0.9			6	0.7			1	0.2	13	4.3	28	0.7	-28	1	1.0	7	0.9
(79)	手足口病	19	2.1	121	13.4	13	1.4	14	2.8	8	1.3	6	2.0	181	4.4	56			19	2.4
(80)	伝染性紅斑			3	0.3			1	0.2	3	0.5	2	0.7	9	0.2	-4				
(81)	突発性発疹	6	0.7	8	0.9	3	0.3	2	0.4	2	0.3	2	0.7	23	0.6	7			6	0.8
(82)	百日咳									1	0.2			1	0.0	1				
(83)	ヘルパンギーナ	5	0.6	7	0.8	2	0.2						14	0.3	6			5	0.6	
(84)	流行性耳下腺炎	7	0.8	1	0.1	16	1.8			19	3.2	11	3.7	54	1.3	-11			7	0.9
眼科	(86)	急性出血性結膜炎													0					
(87)	流行性角結膜炎	1	0.5			2	1.0						3	0.3	-3			1	0.5	
基幹	(92)	クラミジア肺炎													0					
(93)	細菌性髄膜炎														0					
(95)	マイコプラズマ肺炎			1	1.0	8	8.0					2	2.0	11	1.8	-8				
(96)	無菌性髄膜炎														0					

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、八戸2人 (23年計:215人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人、上十三1人(23年計:14人)

IV 病原体検出情報

※()内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

・感染症発生動向調査による病原体検出については、以下のとおりです。

- 呼吸器疾患患者21名(鼻咽頭ぬぐい液、鼻汁、6/1~6/27)・・・**ライノウイルス**：弘前(7)、**RSウイルス**：弘前(1)、**ヒトメタニューモウイルス**：弘前(3)、**ヒトボカウイルス**：弘前(2)、八戸(2)、**パラインフルエンザウイルス3型**：弘前(3)、八戸(1)、**アデノウイルス1型**：弘前(1)、**ライノウイルス及びパラインフルエンザウイルス3型**：弘前(1)
- 急性気管支炎、麻しん疑い患者1名(鼻汁、6/27)・・・**ヒトヘルペスウイルス6型**：八戸
- 突発性発疹患者1名(鼻汁、7/12)・・・**ヒトヘルペスウイルス6型**：青森
- 急性上気道炎、急性胃腸炎患者1名(咽頭ぬぐい液、直腸ぬぐい液、6/22)・・・**ライノウイルス及びノロウイルスGII型**：弘前
- 扁桃炎患者1名(咽頭ぬぐい液、6/7)・・・**アデノウイルス3型**：弘前
- 反復性耳下腺炎患者1名(鼻汁、6/6)・・・**ライノウイルス**：弘前
- 感染性胃腸炎患者1名(直腸ぬぐい液、5/14)・・・**ロタウイルス1型**：弘前

感染症の窓

ヘルパンギーナ (五類定点把握疾患)

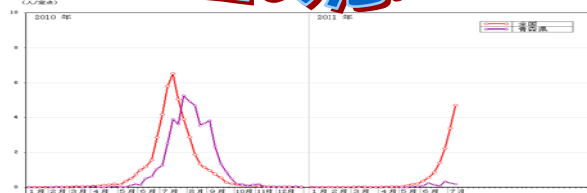


図1 2010~2011年第28週の県内届出数

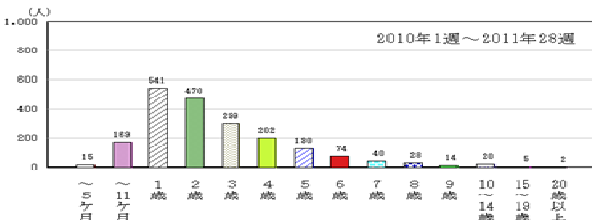


図2 年齢別届出数

ヘルパンギーナは夏に流行する小児のウイルス性咽頭炎です。病原体はエンテロウイルス属で、主にA群コクサッキーウイルスです。

潜伏期間は2~4日で、症状は、突然の発熱、のどの発赤、口腔の水疱です。水疱は1~5mmで周囲が紅く、やがて破れて潰瘍となります。通常は2~4日で解熱し、その後口腔の潰瘍も消失します。ほとんどは予後良好ですが、稀に無菌性髄膜炎、急性心筋炎などを合併することもあります。

感染経路には、接触感染、糞口感染、飛沫感染があります。症状が回復しても、患者の便からは2~4週間ウイルスが検出されます。予防のためには手洗いの励行が大切です。(IDWR 国立感染症研究所「感染症の話」参考)

県内では、昨年(2010年)の届出数のピークは8月で(図1)、最も多い年齢層は1歳以下です(図2)。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です） 単位：人 2011年第9週～第28週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		腸管出血性大腸菌感染症3人				
10	H23.3.7 ~ H23.3.13		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	梅毒1人			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20						
12	H23.3.21 ~ H23.3.27						
13	H23.3.28 ~ H23.4.3						
14	H23.4.4 ~ H23.4.10						
15	H23.4.11 ~ H23.4.17			アメーバ赤痢1人		麻しん1人	
16	H23.4.18 ~ H23.4.24						
17	H23.4.25 ~ H23.5.1			レジオネラ症1人			
18	H23.5.2 ~ H23.5.8						
19	H23.5.9 ~ H23.5.15	つつが虫病1人					
20	H23.5.16 ~ H23.5.22				つつが虫病1人		
21	H23.5.23 ~ H23.5.29			つつが虫病1人			
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	つつが虫病2人					
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	つつが虫病1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	麻しん1人 つつが虫病1人	
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	麻しん1人	梅毒1人	急性脳炎1人			
25	H23.6.20 ~ H23.6.26		腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	つつが虫病2人	つつが虫病2人			梅毒1人	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10					後天性免疫不全症候群1人	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	レジオネラ症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	

VI 結核(二類全数把握疾患) 単位：人 2011年第9週～第28週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		3	1		1	
10	H23.3.7 ~ H23.3.13	2	1	3			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20	2		2	1	2	1
12	H23.3.21 ~ H23.3.27		1	1			
13	H23.3.28 ~ H23.4.3	1	2	2		1	
14	H23.4.4 ~ H23.4.10	2	2	6	1	2	
15	H23.4.11 ~ H23.4.17	1	2	4	1		
16	H23.4.18 ~ H23.4.24	4		4	3		
17	H23.4.25 ~ H23.5.1	1	1		1		
18	H23.5.2 ~ H23.5.8	1	1	1	2		
19	H23.5.9 ~ H23.5.15		2	2	3	1	
20	H23.5.16 ~ H23.5.22	2		1			
21	H23.5.23 ~ H23.5.29	1		5	3	3	
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	2	2		1	1	
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	1	2		2		
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	1	5	5	2		
25	H23.6.20 ~ H23.6.26	1	1	8	1	6	3
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	1	1	2		1	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10		4	3		4	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	1		2		3	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

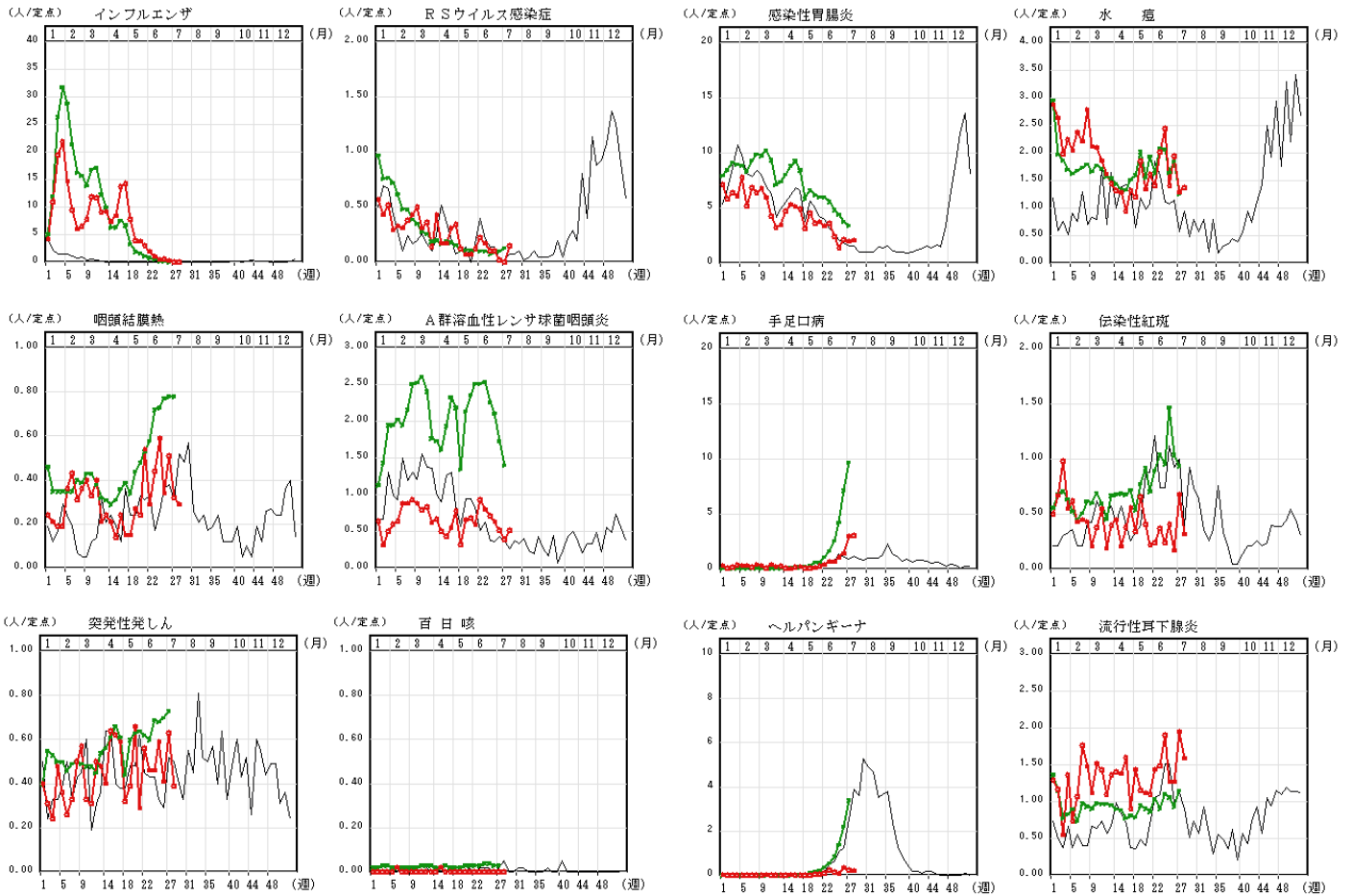
2011年7月25日17時集計速報値

	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクシス症	オウム病	コクサジウイルス症	チカングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ボリリウス症	マラリア
全国	1	15967	2	105	1438	12	15	37	135	11	10	2	5	155	48	40	2	1	3	33
青森県	0	209	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0

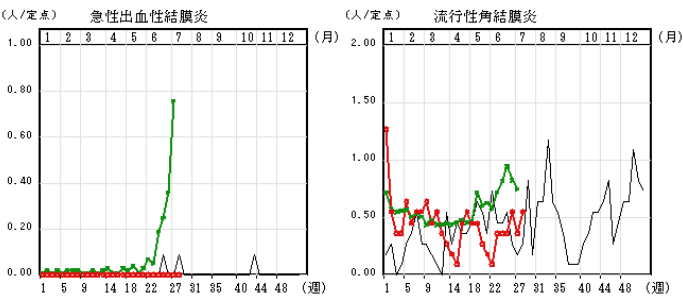
	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	
全国	3	362	5	417	142	177	6	64	129	762	38	7	1	400	59	30	260	364	
青森県	0	2	0	1	0	2	0	0	2	1	0	0	0	5	1	1	0	3	

グラフの説明 ○—○は 2011 年青森県、——は 2010 年青森県、○—○は 2011 年全国

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2011 年第 28 週



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2011 年第 28 週



Ⅹ 基幹定点把握疾患週別推移 2011 年第 28 週

